

グローバルエンジニア体感プログラム（インド）ご紹介

グローバルエンジニア必要性の背景

ITサービスのグローバル化（クラウド/データセンター等）が進むにつれ、日本でも開発を中国やインド等の海外へ委託（オフショア開発）するケースがデファクトスタンダードになりつつあります。

海外の安価で優秀なエンジニアが開発作業のメインになるにつれ、日本のエンジニアには、そうした海外エンジニアをマネジメントするスキル、また日本の技術力等を活かし、開発の上流に立つスキルが求められる時代になってきています。

本プログラムは、将来的にそういったスキルを持つ人材として期待される若手エンジニアの第一歩として、最適なプログラムです。



本プログラムの特徴

インドでの実体感プログラム

2週間の短期プログラムの中に、当社実プロジェクトへのアサインを盛り込むことで、日本ではできない、実際のオフショア開発現場を、体感することが可能です。

当社グループでの豊富な実績

長年にわたり、NTTデータグループの研修先として、年間100名以上（2014年度）をインドで受け入れており、実プログラム含め、当社グループでの豊富な実績がございます。

安全面への配慮

豊富な実績に加え、現地日本語スタッフが日々の送迎から万が一のサポートまで対応させて頂くことで、安心して研修を受講頂くことが可能な環境をご用意しています。（現地医療機関とも提携。）

本プログラムの環境

- ・ 研修・宿泊施設は専用の施設を準備、サポートの充実で安心安全の研修です。
- ・ 本研修専門のサポートチームが常駐。日本語堪能なメンバーに何でもご相談ください。
- ・ 食事の心配・体調の心配への配慮も万全に行っています。（特別食・提携病院あり）
- ・ 平日毎日の送迎付で夜道の心配も不要です。

本プログラムの概要

本プログラムの概要は下記のとおりとなります。

研修期間/開催場所

開催期間: 2週間（現地12日）
 開催予定日: 2015年2月2日（月）～2月13日（金）
 開催場所: 日本 東京都 新宿区
 インド マハラシュトラ州 プネ市

受講費用

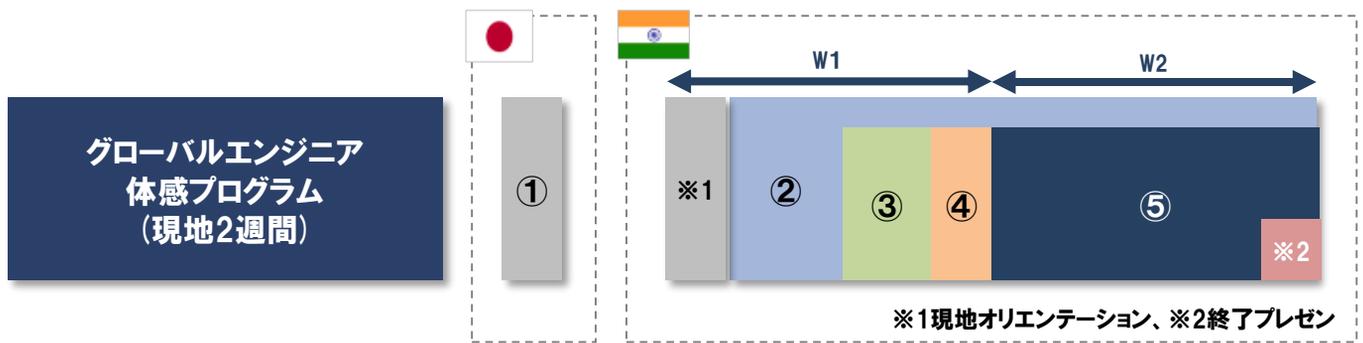
400,000円（受講者1名あたり）最少催行人数: 10名を予定
 ※上記基本価格には、受講料、宿泊費、朝食代、昼食代を含みます。これ以外の渡航費、現地での通信費、食費等は自己負担となります。

受講対象者

入社3年目程度の若手社員
 海外と業務を行う可能性のあるエンジニア
 TOEIC500点以上（ご推奨）



研修の全体スケジュールとプログラム内容

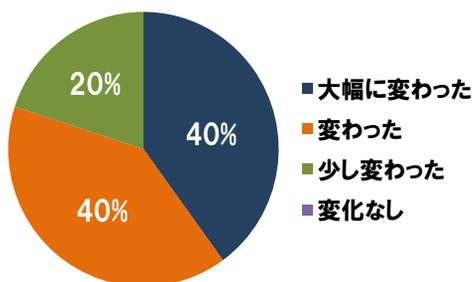


No.	プログラム名	内容	場所
①	オリエンテーション	<ul style="list-style-type: none"> 研修先インド及びブネの経済/文化/生活状況 理解 研修プログラム/滞在先の環境理解 現地でのDo/Don't、インド携帯配布、GTSサポート体制説明 	日本
	Cross Cultural Communication	<ul style="list-style-type: none"> 異文化を理解することで、日本文化、日本におけるビジネスを客観的視点から観察 様々な観点から物事を捉え異文化を理解することでコミュニケーション能力を向上 国際的な領域で活躍する為に必要な理解力・調整力・交渉力を習得 	日本
②	Business English	<ul style="list-style-type: none"> ロールプレーより実践で生きる英会話スキルの強化 パネルディスカッションを通じて、特にスピーキング能力の向上 有効的にビジネスを行う手段としてのビジネスコミュニケーションを理解 	インド
③	Software Project Management	<ul style="list-style-type: none"> PMBOKをベースに、プロジェクト管理に必要な効率的・現実的なプロセスを理解し、Hands on Assignments に必要なGTS社内プロセス/Knowhowを理解する US/日本の開発のプロセスなどの差異、Agile開発手法をケーススタディを通じ理解 	インド
④	Global Delivery Model (GDM)	<ul style="list-style-type: none"> グローバルコラボレーションの仕組み理解 ケーススタディから成功/失敗する基本アーキテクチャ及びマネージメントパラメータ理解 契約形態/リスク及びその回避方法/コミュニケーション/法的見地など、包括的に理解 	インド
⑤	Hands On Assignment	<ul style="list-style-type: none"> 上記で学習した内容を、実際のプロジェクトにてプラクティス プロジェクトマネージャ/リーダーもしくはメンバーとしてオフショア開発現場を経験 US/EU向けプロジェクトを通じて、日常業務では得られない視点/観点を学習 	インド
	バディープログラム 課外活動	<ul style="list-style-type: none"> ビジネス上だけでなく、異文化における生活、習慣、風習を肌身で感じ取る 相手の国籍/言語に関係なく、自然体でのコミュニケーション能力を習得 相互に刺激し合える環境であるため、仕事やキャリアに対するモチベーションが向上 	∞

取り組み次第で無限大の可能性

研修の効果 (ご参加者の声)

参加者の上長視点では、全参加者の行動や業務意識が変化。
Q.業務状況・行動面において、渡航前後で研修参加者に変わった点は見られるか？



- ✓ 幅広い視野・考えを持つことの必要性を実感したようだ。研修で実践した内容をプロジェクトに移植するというのではなく、そのプロジェクトに適合したやり方を自ら考え見出すような取り組みが出来るようになった。
- ✓ 海外のパートナー会社と積極的に英語で交渉をするようになった。
- ✓ インドでのやり方と現在対応している案件のやり方を比べて、「気づき」を得て意見が言えるようになった。
- ✓ プロフェッショナルとしての意識 (自分の価値を出す) という観点が強くなり、率先してチーム貢献や自分の価値を提供してビジネスを進めようとする姿勢が見られる。
- ✓ 感化され、効率的に仕事を進めて行こうとする意欲が感じられる。